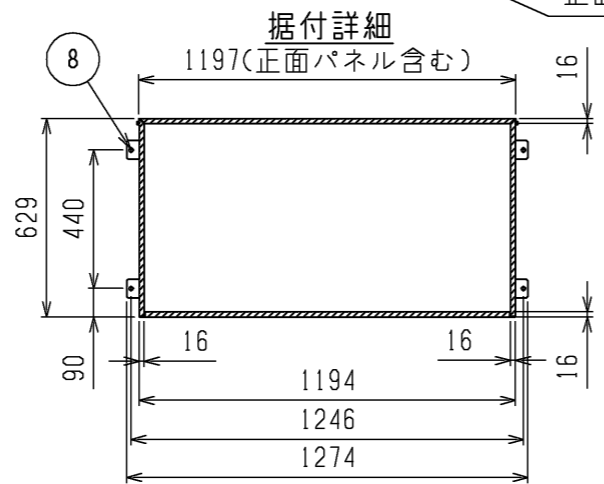
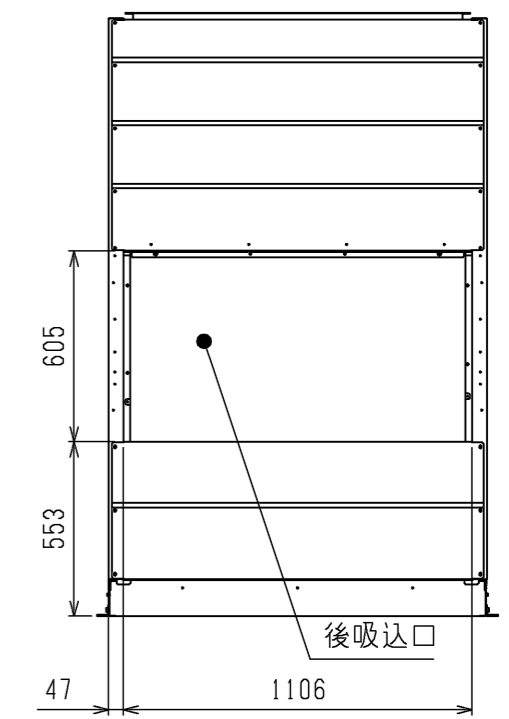
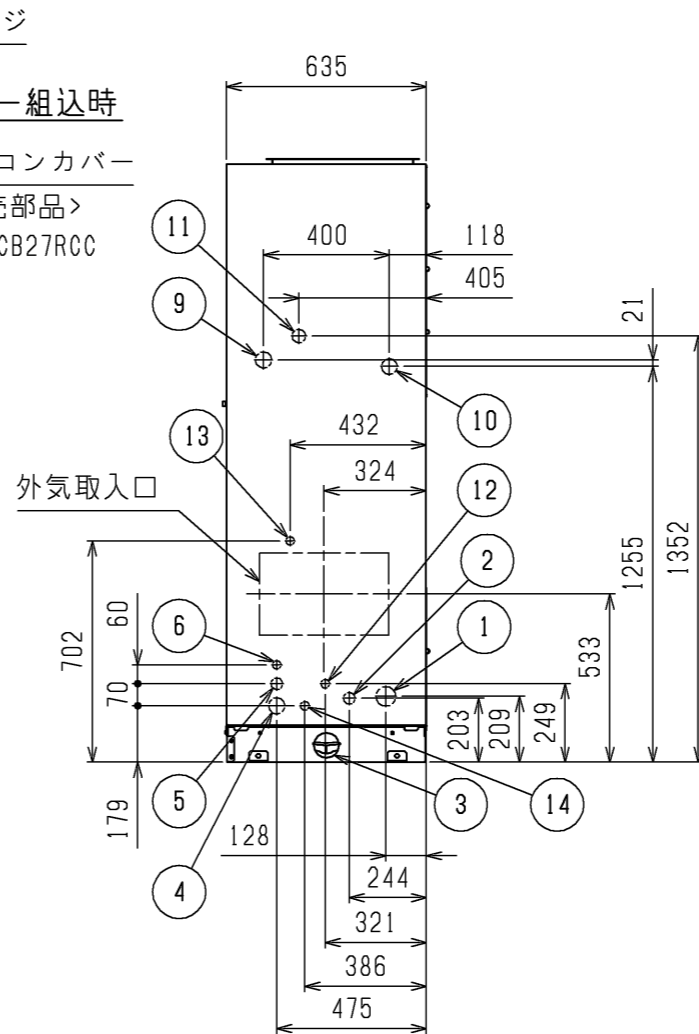
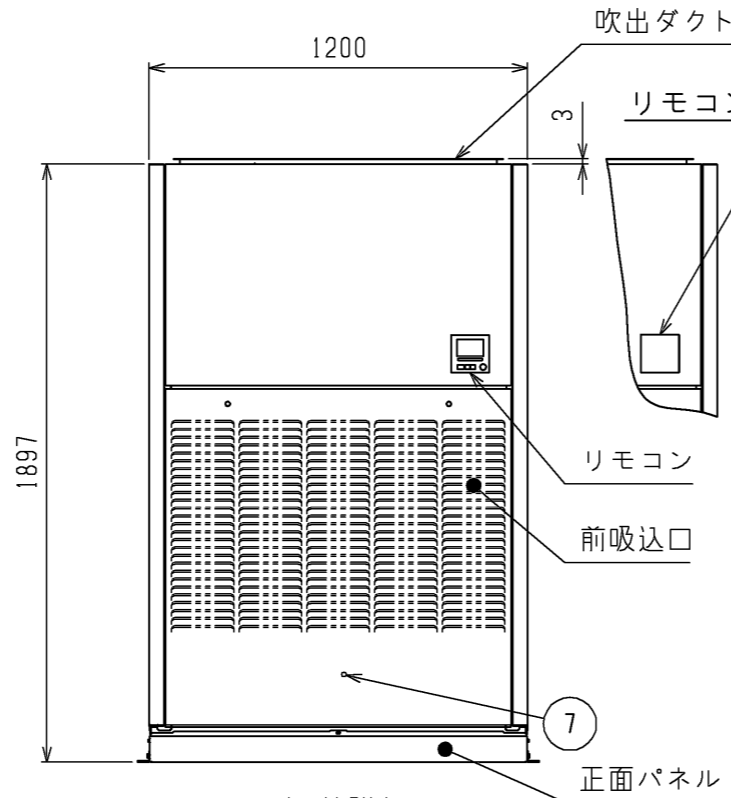
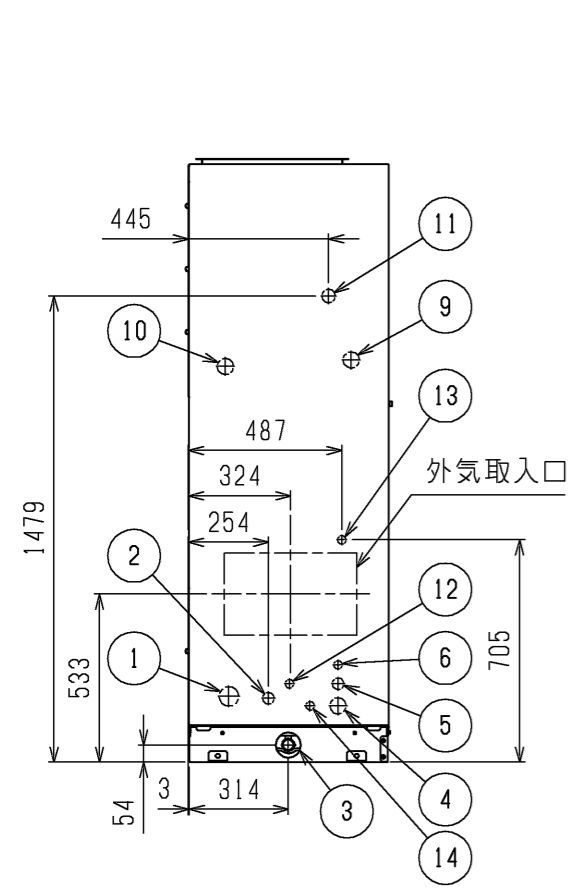
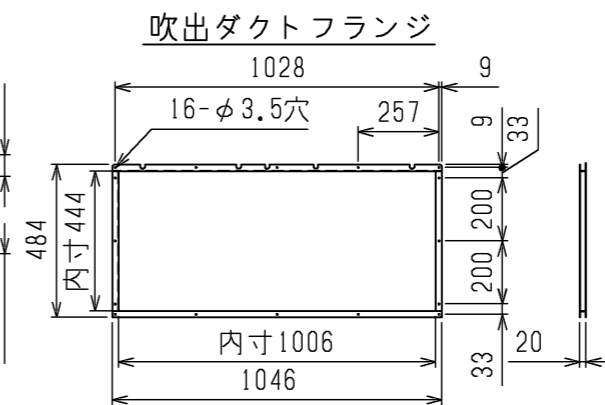


通風・サービススペース
通常最低限必要な寸法を示します。

配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。

吹出ダクトフランジ



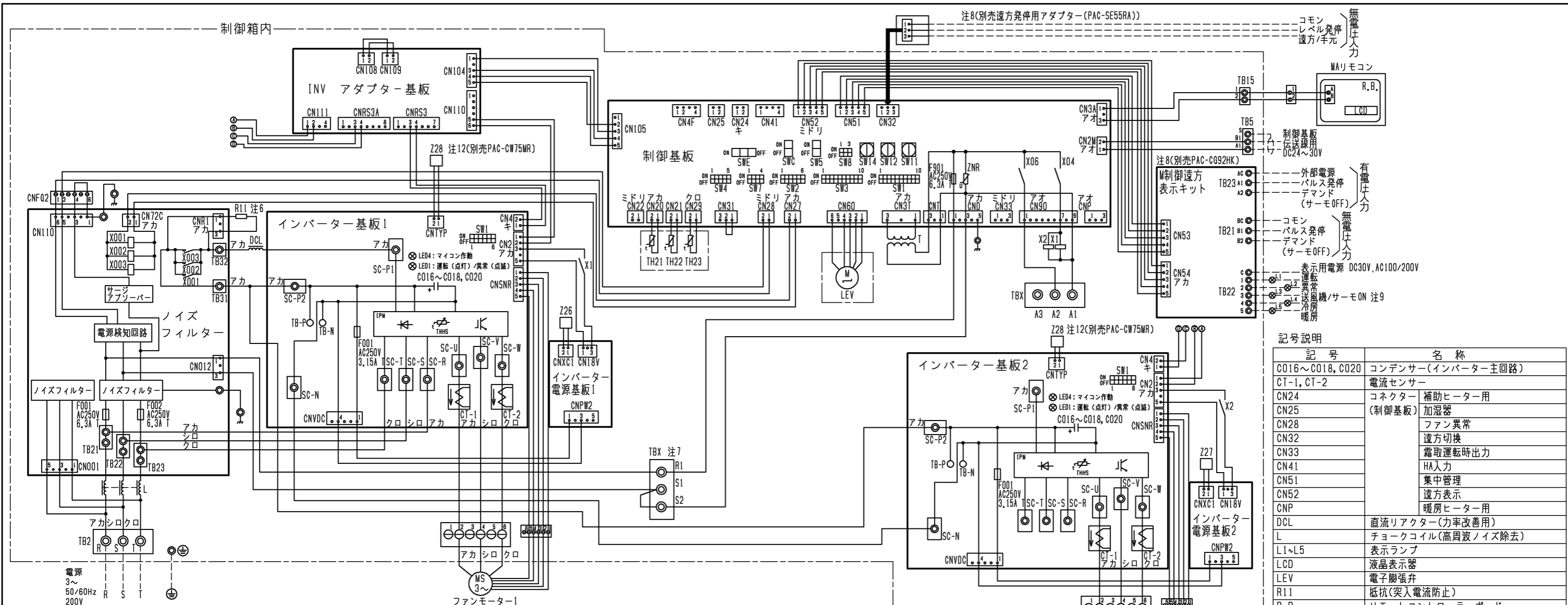
据付け時に受ける必要がある部分を で示しています。

- 注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
3. 熱交換器の交換など重サービス時にはユニットの移動が必要となります。ユニットの移動ができない場合は両側面に500mmのスペースを確保して施工してください。
4. 標準仕様のドレン穴は左取出しとなっています。ドレンパンの向きを変更して右取出しにすることができます。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>・・・φ28,58ろう付	8	基礎ボルト穴・・・4-φ12
2	冷媒配管<液>・・・φ15,88ろう付	9	蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気入口・温水出口)・・・φ52ロックアウト穴(接続サイズ:Rc1 1/2)
3	ドレン穴・・・Rp1	10	蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気出口・温水入口)・・・φ52ロックアウト穴(接続サイズ:Rc1 1/2)
4	装置電源穴・・・φ52ロックアウト穴	11	遠方操作キット配線穴・・・φ43ロックアウト穴
5	電線穴・・・φ37ロックアウト穴	12	加湿器配管穴・・・φ27ロックアウト穴(ペーパーパン:R1/2, 蒸気スプレー:Rc1/2)
6	室内外連絡線穴, 伝送線穴・・・φ27ロックアウト穴	13	加湿器配管穴・・・φ27ロックアウト穴(水スプレー:R1/2)
7	アース端子(制御箱内に設置)・・・M5ねじ	14	加湿器配線穴・・・φ27ロックアウト穴(ペーパーパン, 水スプレー, 蒸気スプレー)

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R 度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED 2024-01-09	改定日付 REVISED 2024-02-19	TITLE 床置ダクト形室内ユニット外形図 PFAV-P560DMJ3
	三菱電機株式会社		DWG.NO. W KP94C1RG REV. A PAGE 1/1



- 注1. 図中破線部分は現地工事区分を示します。
 注2. 一点鎖線は制御箱境界を示します。
 注3. ⊙印は端子台、⊖印は中継コネクタ、□は基板差込みコネクタを示します。
 注4. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 注5. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
 注6. ファストン端子はロック機構付き端子です。取り外す際は端子中央のつまみを押しながら取り外してください。取付後は確実にロックがかかっていることを確認してください。
 注7. 緊急停止入力は、端子台TBX(S1-S2間)の短絡線を外して、そこに緊急停止スイッチなどを配線接続してください。

- 注8. 遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)とM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)は別売部品です。
 ・パルス発停用スイッチ：M制御遠方表示キットに接続してください。
 ・レベル発停用スイッチ：遠方発停用アダプターに接続してください。
 注9. 制御基板のSW1-5を使用用途に応じて設定してください。
 送風機状態出力：SW1-5 OFF(工場出荷時設定)
 サーモON状態出力：SW1-5 ON

- 注10. ルームサーモ仕様にてご使用の場合は、製品内蔵のTH21は機能しません。別売温度センサー(PAC-SE40TS-W)を接続、または現地回路接続してください。
 注11. 各入力の接点は微小電流用(DC12V 1mA以下)を使用してください。
 注12. 高静圧モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください(インバーター基板1、2とも)。また、室内基板のSW3-2をOFF→ONにしてください。モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。

●仕様(M制御遠方表示キット)

項目	内容
電源	室内基板から受電
据付場所	本体制御箱内
適合入出力伝送線サイズ(信号線)	CV, CVSまたはこれらに相当するもの 単線：φ0.65mm×φ1.2mm 燃線：0.5mm ² ~1.25mm ²
信号線配線距離	外部出力：MAX100m 外部入力：MAX100m
室内ユニット接続線	10心(5心+5心)5m
接続形態	室内基板毎

●入力仕様(M制御遠方表示キット、遠方発停用アダプター)

機能	使用用途	信号仕様
パルス発停(注8)(注11)	ON/OFF指令を出すことができます。	ハルス(有電圧/無電圧a接点)(有電圧の場合) 電源：DC12V~24V 電流：約10mA(DC12V時)
		200ms以上 200ms以上 (ハルス通電時間) (ハルス間隔)
レベル発停(注8)(注11)	ON/OFF指令を出すことができます。レベル(無電圧a接点)	遠方/手元
		リモコン
デマンド(注11)	デマンド指令(サーモOFF)を出すことができます。	レベル(有電圧/無電圧a接点)(有電圧の場合) 電源：DC12V~24V 電流：約10mA(DC12V時)

●出力仕様(M制御遠方表示キット)

機能	使用用途	信号仕様
運転	外部へ運転信号が取り出せます。	リレーa接点出力 DC30Vまたは AC100V/200V 接点定格電流：1A 接点最小負荷：10mA
異常	外部へ異常信号が取り出せます。	
送風機・サーモON(注9)	外部へ送風機運転・サーモON信号が取り出せます。	
冷房	外部へ冷房信号が取り出せます。	
暖房	外部へ暖房信号が取り出せます。	

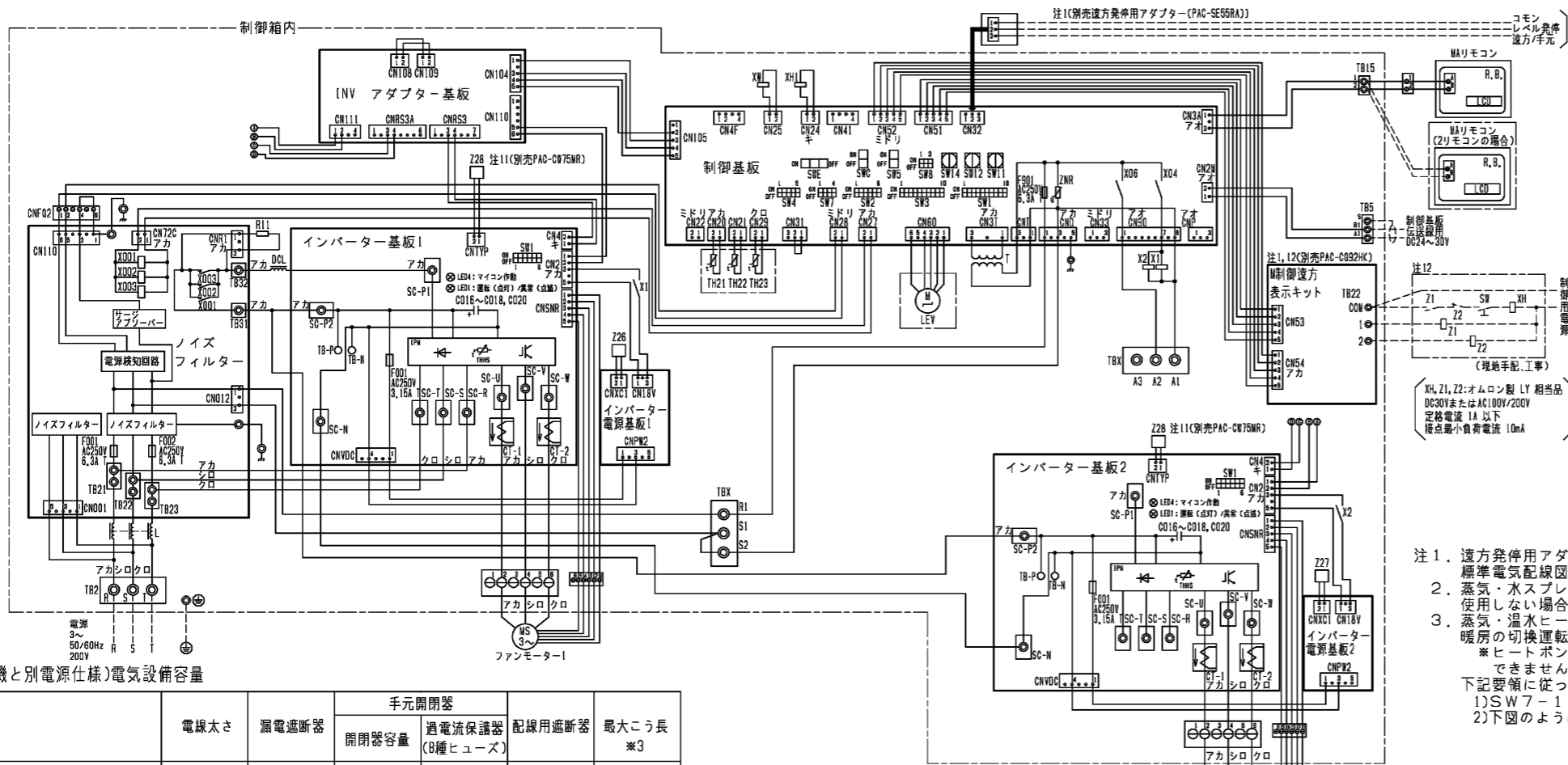
記号説明

記号	名称
C016~C018, C020	コンデンサー(インバーター主回路)
CT-1, CT-2	電流センサー
CN24	コネクタ 補助ヒーター用
CN25	(制御基板) 加湿器
CN28	ファン異常
CN32	遠方切換
CN33	霜取運転時出力
CN41	HA入力
CN51	集中管理
CN52	遠方表示
CNP	暖房ヒーター用
DCL	直流リアクター(力率改善用)
L	チョークコイル(高周波ノイズ除去)
L1~L5	表示ランプ
LCD	液晶表示器
LEV	電子膨張弁
R11	抵抗(突入電流防止)
R.B.	リモートコントローラーボード
SW1	スイッチ 機能切換
SW2	(制御基板) 能力設定
SW3	機能切換
SW4	機種設定
SW5	機能切換
SW7	機能切換
SW8	能力設定
SW11	アドレス設定用 1の位
SW12	アドレス設定用 10の位
SW14	分岐口No. / ペアNo. 用
SWC	機能切換
SWE	ファン試運転用
T	電源トランス
TB2	電源端子台
TB5	伝送端子台
TB15	MAリモコン用端子台
TB21~TB23	入出力用端子台(別売M制御遠方表示キット)
TBX(S1, S2)	緊急停止用端子台
TBX(A1, A2, A3)	別売接続用端子台
TH21	吸込み温度検出用サーミスター
TH22	配管温度検出用サーミスター(液)
TH23	配管温度検出用サーミスター(ガス)
X1, X2	電磁継電器 インバーター基板用
X001~X003	インバーター主回路
Z26, Z27	機能設定素子
Z28	モーター識別抵抗

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。

THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE
2024-01-09		床置きダクト形室内ユニット電気配線図 PFAV-P560DMJ3
尺度 SCALE DO NOT SCALE	三菱電機株式会社	DWG.NO. W KP94C1R8
		REV. * PAGE 1/1

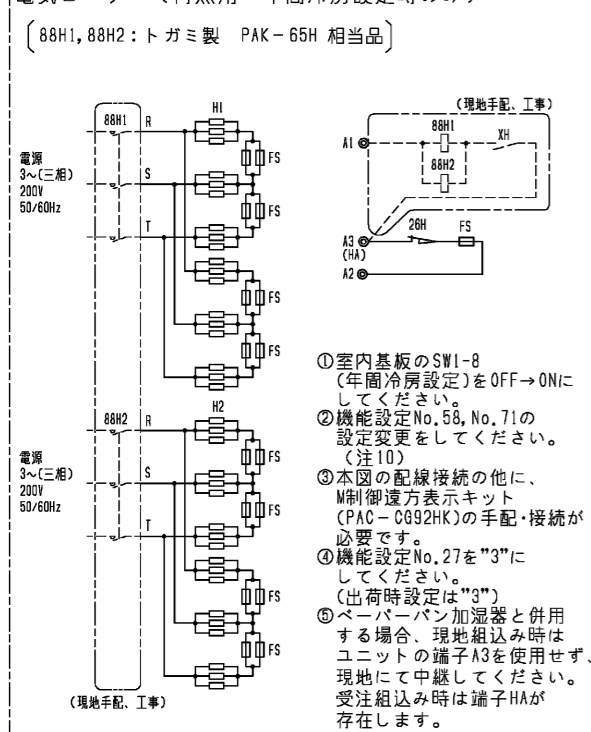


(室内機と別電源仕様)電気設備容量

	電線太さ	漏電遮断器	手元開閉器			最大こう長 ※3
			開閉器容量	過電流保護器 (B種ヒューズ)	配線用遮断器	
電気ヒーター(再熱用)※4	38㎡	100A※1	100A	100A	100A	54m
ペーパーパン加湿器	2.0㎡	20A※2	15A	15A	20A	18m

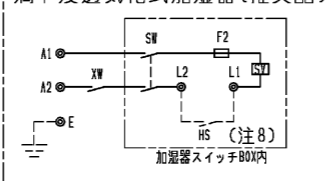
- ※1 漏電遮断器は感度100mA 0.1s以下を使用してください。
- ※2 漏電遮断器は感度30mA 0.1s以下を使用してください。
- ※3 電源配線のこう長は電源から別売部品までの電圧降下2%時の最大こう長を示します。
- ※4 1回路あたりの電気設備容量を示します。同一のヒーター回路が2回路あるため、各回路に施設してください。

電気ヒーター(再熱用・年間冷房設定時のみ)

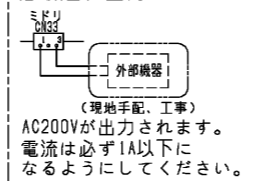


- ① 室内基板のSW1-8(年間冷房設定)をOFF→ONにしてください。
- ② 機能設定No.58, No.71の設定変更をしてください。(注10)
- ③ 本図の配線接続の他に、M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の手配・接続が必要です。
- ④ 機能設定No.27を"3"にしてください。(出荷時設定は"3")
- ⑤ ペーパーパン加湿器と併用する場合、現地組込み時はユニットの端子A3を使用せず、現地で中継してください。受注組込み時は端子HAが存在します。

滴下浸透気化式加湿器(推奨品)



霧取運転出力コネクタ



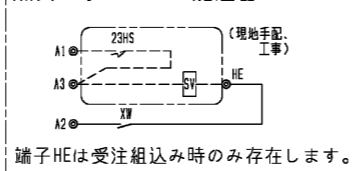
蒸気・温水ヒーター

- 暖房用ヒーターとして使う場合
- ① 室内基板のSW7-1をOFF→ONにしてください。(注3)
 - ② 本図の配線接続の他に、注3に示す別売遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)またはM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の手配・接続が必要です。
 - ③ 21Wは、200V 1A以下の物を使用してください。電流容量が1A以上になる場合は、ル-受けしてください。
 - ④ 端子HA, HBは受注組込み時のみ存在します。
 - ⑤ 機能設定No.25を"3"にしてください。(出荷時設定は"3")

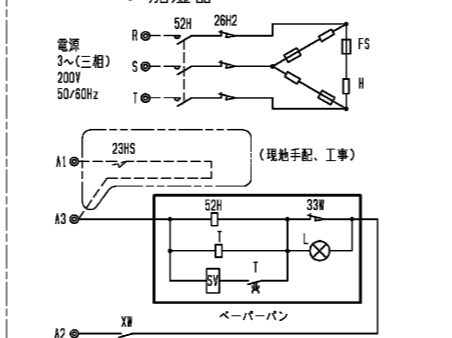
冷房再加熱用ヒーターとして使う場合

- ① 室内基板のSW7-1をOFF→ONにしてください。(注3)
- ② 21Wは、200V 1A以下の物を使用してください。電流容量が1A以上になる場合は、ル-受けしてください。
- ③ 端子HA, HBは受注組込み時のみ存在します。
- ④ 機能設定No.27を"3"にしてください。(出荷時設定は"3")
- ⑤ 室内基板のSW1-8(年間冷房設定)をOFF→ONにしてスイッチを設けてください。
- ⑥ 機能設定No.58, No.71の設定変更をしてください。(注10)

蒸気・水スプレー加湿器

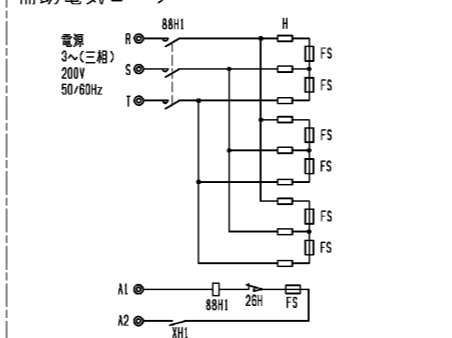


ペーパーパン加湿器



- ① 室内基板のSW3-5をOFF→ONにしてください。
- ② 冷房加湿を行う場合は、機能設定No.99を"2"にしてください。(出荷時設定は"1")
- ③ サーモOFF時(冷房・暖房)も加湿器をONにする場合は、室内基板のSW1-6をOFF→ON、MAリモコンにて機能設定No.25を"3"(暖房時)に機能設定No.27を"3"(冷房時)にしてください。

補助電気ヒーター



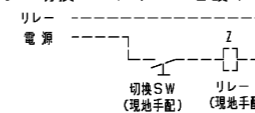
追加部品記号説明

記号	名称	備考
21W	電磁弁	現地手配
SW	スイッチ	現地手配
88H1	電磁接触器	別売付属
FS	温度ヒューズ	別売付属
H	ヒーター	別売付属
26H	過昇防止サーモ	別売付属
XH1	補助電器	別売付属
HS	ヒューミディスタット	現地手配
SV	電磁弁	加湿器付属
XW	補助電器	加湿器付属
F2	ヒューズ<0.5A>	加湿器付属
SW	スイッチ	加湿器付属
52H	電磁接触器	別売付属
26H2	サーマルカットアウト	別売付属
FS	温度ヒューズ	別売付属
H	ヒーター	別売付属
23HS	湿度調節器	現地手配
T	タイマー	別売付属
SV	電磁弁	別売付属
L	断水ランプ	別売付属
33W	断水スイッチ	別売付属
XW	補助電器	別売付属
23HS	湿度調節器	現地手配
SV	電磁弁	加湿器付属
XW	補助電器	加湿器付属

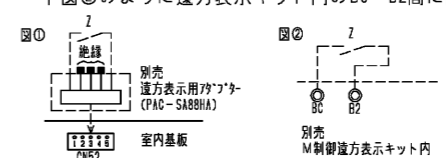
記号説明

記号	名称
CO16~CO18, CO20	コンデンサー(インバーター主回路)
CT-1, CT-2	電流センサー
CN24	コネクター 補助ヒーター用
CN26	加湿器 (制御基板)
CN28	加湿器
CN32	ファン異常
CN33	遠方切換
CN41	霜取運転時出力
CN45	HA入力
CN51	集中管理
CN52	遠方表示
CNP	暖房ヒーター用
DCL	直流リアクター(力率改善用)
L	チョークコイル(高周波ノイズ除去)
LED	液晶表示器
LEV	電子膨張弁
R11	抵抗(突入電流防止)
R, B	リモートコントロールボード
SW1	スイッチ 機能切換
SW2	スイッチ 能力設定 (制御基板)
SW3	機能切換
SW4	機能設定
SW5	機能切換
SW7	機能切換
SW8	能力設定
SW11	アドレス設定用 1の位
SW12	アドレス設定用 10の位
SW14	分岐口No.ペアNo.用
SWC	機能切換
SWE	ファン試運転用
T	電源トランス
T92	電源端子台
T95	伝送端子台
TBX(S1, S2)	緊急停止用端子台
TBX(A1, A2, A3)	別売接続用端子台
TB15	MAリモコン用端子台
TB21~TB23	入出力用端子台(別売M制御遠方表示キット)
TH21	吸込み温度検出用サーミスタ
TH22	配管温度検出用サーミスタ(液)
TH23	配管温度検出用サーミスタ(気)
X1, X2	電磁接触器 インバーター基板用
X001~X003	インバーター主回路
Z26, Z27	機能設定素子

1. 遠方発停用アダプター、M制御遠方表示キットの接続要領は、標準電気配線図をご参照ください。
2. 蒸気・水スプレー加湿器、ペーパーパン加湿器は23HS(湿度調節器)を使用しない場合、端子台のA1とA3を短絡してください。
3. 蒸気・温水ヒーターは、ヒートポンプ暖房または蒸気・温水による暖房の切換運転になります。
*ヒートポンプ暖房と蒸気・温水暖房を同時に運転することはできません。
下記要領に従って、SW設定、配線接続してください。
1) SW7-1をONに設定してください。
2) 下図のように切換SW、リレーを設けてください。(現地手配)



- 切換SW(現地手配)
ONで蒸気・温水暖房(圧縮機は運転しません)
OFFでヒートポンプ暖房(電磁弁(現地手配)は動作しません)
*接点が微小電流用(DC12V 1mA相当)の場合、下記リレー(現地手配)は不要です。
直接基板へ接続してください。
- リレー(現地手配)
微小電流対応(DC12V 1mA相当)のものを使用してください。
① 別売遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を使用する場合
下図①のように遠方表示用アダプターに配線接続してください。
② 別売M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)を使用する場合
下図②のように遠方表示キット内のBC-B2間に配線接続してください。



- *ヒートポンプ暖房/蒸気・温水暖房の切換入力と、室内ユニットから出力信号(運転、異常、冷房、暖房、送風)を併用する場合は、図②に示すように、別売M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)をご使用ください。
この場合、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を用いた図①の接続は不要です。
- 3) 冷房運転時は上記切換SW(現地手配)を必ずOFFにしてください。
ONの状態では圧縮機が運転しません。
- 4. 本図は主要部品組込み時の配線図を示します。
標準のみの電気配線接続は、標準の電気配線図を参照してください。
- 5. 本ユニットは受注要求仕様により、本図に示す電気回路(該当部分のみ)を組んでいます。
- 6. 室内温度制御にて空調を行う際は温度センサー(PAC-SE40TS-W)を使用し、TH21は取外してください。
- 7. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
- 8. ヒューミディスタットをご使用の際は、端子台L1, L2の短絡線を外してヒューミディスタットを接続してください。
- 9. 滴下浸透気化式加湿器組込み時は、蒸気・温水ヒーター、電気ヒーター(再熱用)、補助電気ヒーターとの併設はできません。
- 10. 電気ヒーター(再熱用)または、蒸気・温水ヒーター(再熱用)を組込みの場合、ヒーターの余熱排除のため、MAリモコンにて機能設定No.58を"3"、機能設定No.71を"2"にしてください。
- 11. 高静圧モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください。
また、室内基板のSW3-2をOFF→ONにしてください。
モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。
- 12. 電気ヒーター(再熱用)を組込みの場合、M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)を必ず使用してください。
現地手配・工事部については、現地責任でお願いします。